

## M4 ミニシンポジウム 4 3日目(9月17日)

### 「創薬の将来展望」

#### 開催趣旨

この数年は、主力製品が特許切れを迎える、いわゆる「2010年問題」が、我が国の主要製薬企業にとって大変重要な問題になると懸念されています。言葉を変えれば、この時期の各社の創薬戦略(2010年問題克服のシナリオ)の良し悪しが、製薬企業の今後の成長に大変重要になると予想されます。このような状況の中、今年は、CBI学会にとって活動を始めてから30年となる記念の年でもありますので、「創薬の将来展望」と題して製薬企業の研究開発の幹部をお招きし、年会でミニシンポジウムを開催する事を企画いたしました。このミニシンポジウムでは、先ず、元三共株式会社の吉本氏にCBI活動も含めて、この30年の創薬の研究開発に関してレビューして頂きます。その後、第一三共、エーザイ、大日本住友、武田の研究開発の責任者から各社の研究開発についてのご講演を拝聴します。このような日本を代表する大手企業の責任者からお話を伺えることは、大変意義あることと思います。ミニシンポジウムの最後に、会場の皆様と30年後の創薬についてディスカッションできれば世話人として大変嬉しく思います。

座長：堀内正（慶應大学）、藤原巖（大日本住友製薬）

#### プログラム

M4-1 : 9:30-10:00

「QSAR/CADD から研究開発企画、そしてライセンス」  
吉本昌文（ファーマBDL LLC 代表）

M4-2-1 : 10:00-10:20

「Global Pharma Innovator - 第一三共の挑戦 - 」  
廣川和憲（第一三共株式会社 研究開発本部長）

M4-2-2 : 10:20-10:40

「R&Dからプロダクトクリエーションへの転換」  
塚原克平（エーザイ株式会社 エーザイ・プロダクト・クリエーション・システムズ ネクスト・ジェネレーション・システムズ機能ユニット プレジデント）  
<休憩>

M4-2-3 : 10:55-11:15

「創薬イノベーションへの課題」  
金岡昌治（大日本住友製薬株式会社 研究本部長）

M4-2-4 : 11:15-11:35

「新薬創出のブレークスルーと新基盤技術への挑戦」  
小高裕之（武田薬品工業株式会社 研究本部長）

11:35-12:00

パネルディスカッション